



学校だより

# おおくぼ



大窪小の情報満載!!  
【公式ホームページ】  
<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1215/>

日南市立大窪小学校 令和8年〔2026年〕1月23日

2026年 今年も どうぞ よろしくお祈いします

11月の大窪小・大窪地区大運動会が終わった後、菜の花の種をまきました。菜の花の花言葉は「快活」「明るさ」だそうです。いま、本格的な寒さの冬ですが、寒さを乗り越え、あざやかな黄色い花が少しずつ咲き始める様子に、頼もしさを感じます。



【花言葉】「快活」「明るさ」……

菜の花 咲き始めました



やがて花は散りますが、こぼれ落ちた種は土へと還り、また次の春に咲き始めます。その巡りゆく命は、たとえ形が変わっても、この大窪小学校の思い出や絆が永遠に続いていくことを教えてくれているようです。



2つめはボランティア活動です。

3学期、頑張ることが2つあります。  
1つめは算数です。  
落合先生は授業の終わりに、「45分間集中して頑張りました」「よくできました」と私のことを褒めてくださいました。しかし、6年生の算数の内容は難しいし、計算も大変です。分からなくなるとやる気がなくなりそうですが、諦めずにできるまで頑張ります。



3学期はいよいよ閉校です。悲しいけれど、それ以上に楽しい思い出をたくさん作りたいと思います。



学校を綺麗にするために、ボランティア活動をしています。5年生の時より集中して、一生懸命取り組みることができています。大窪小に来られる方が、いつも「綺麗な学校だ」と思ってもらえるように、さらに素早く取り組みたいと思います。

# 「新春子どもの声を聴く会」市内小学生の部 大窪の心で優秀賞

1月20日(火)午前、市内小学校15校の代表児童が集まり、日頃の思いや願いを主張する「新春子どもの声を聴く会」が開かれました。大窪小の様子を発表した杉田悠馬さんは、見事「優秀賞」を受賞しました。

## 僕の中の 3頭の「ぞう」

僕は今、悲しい気持ちでいっぱいです。来月の21日、僕の通う大窪小学校では、閉校式があります。そして、僕たちが卒業する3月、152年の歴史に幕を閉じます。だから、今日、みなさんに、大窪小のことを伝えて、覚えてもらおうため、大窪小の話をします。僕たちの大窪小学校には、3頭の象がいます。

まず、1頭目は、大窪小に通う僕たち「がんばるぞう」です。大窪小最後の1年となった今年、全校児童2人で過ごしました。



たった2人なので、野球やバレーボールなど2人ではできないことや、そうじや委員会活動など、2人ではたいへんなことがたくさんありました。でも、僕の心の中には「がんばるぞう」がいます。できないことがあったとき、悩んで、悩んで、オリジナルの大窪ルールを作ったり、乗り越えました。大変なことがあったとき、2人でこれまで以上に協力して乗り越

えました。大窪小には僕たち「がんばるぞう」がいます。

次に、2頭目は、僕たちを「ささええるぞう」です。僕が学校で頑張ったのは、たくさんさんの愛情を授けて、ここまで大きくしてくれたお父さん、お母さんのおかげです。先生たちも、勉強だけではなく、昼休みに毎日遊んでくださいました。少ない人数の僕たち「がんばるぞう」だけではないときは、お父さん、お母さん、先生たち「ささええるぞう」に力を借りて、毎日楽しく6年間の学校生活を送ることができました。大窪小には「ささええるぞう」がいます。



さて皆さん、3頭目の象はどんな象だと思いますか。それは、「みまもるぞう」。

大窪小を巣立った先輩たちや地域の皆さんです。11月2日、大窪小学校最後の運動会が行われました。全校児童2人に対し、なんと、全校児童の100倍を超える、200人以上が集まって大成功でした。また、毎日の登校中、すれ違うたくさんの人たちが、「おはよう」と手を振ってくれます。きっと、大窪地区の皆さんは、大窪小が大好きで、いつも見守ってくださるのだと思います。大窪小には「みまもるぞう」

がいます。



大窪小が閉校したら、両親、先生たち、先輩たち、地域の皆さんが悲しみます。だから、僕は今、悲しい気持ちでいっぱいです。

でも3頭の象は、僕の中で、ずっと、ずっと、僕が大人になっても生き続けます。いや、僕が大人になると成長します。

そして、今度は僕が、大窪をささえ、大窪を見守る「たよりになるぞう」になります。

### 大窪小の 教育イメージ

がんばるぞう  
【児童】

ささええるぞう  
【先生・親】

みまもるぞう  
【大窪地区】

## たよりになる ぞう